

図書館だより Vol.16

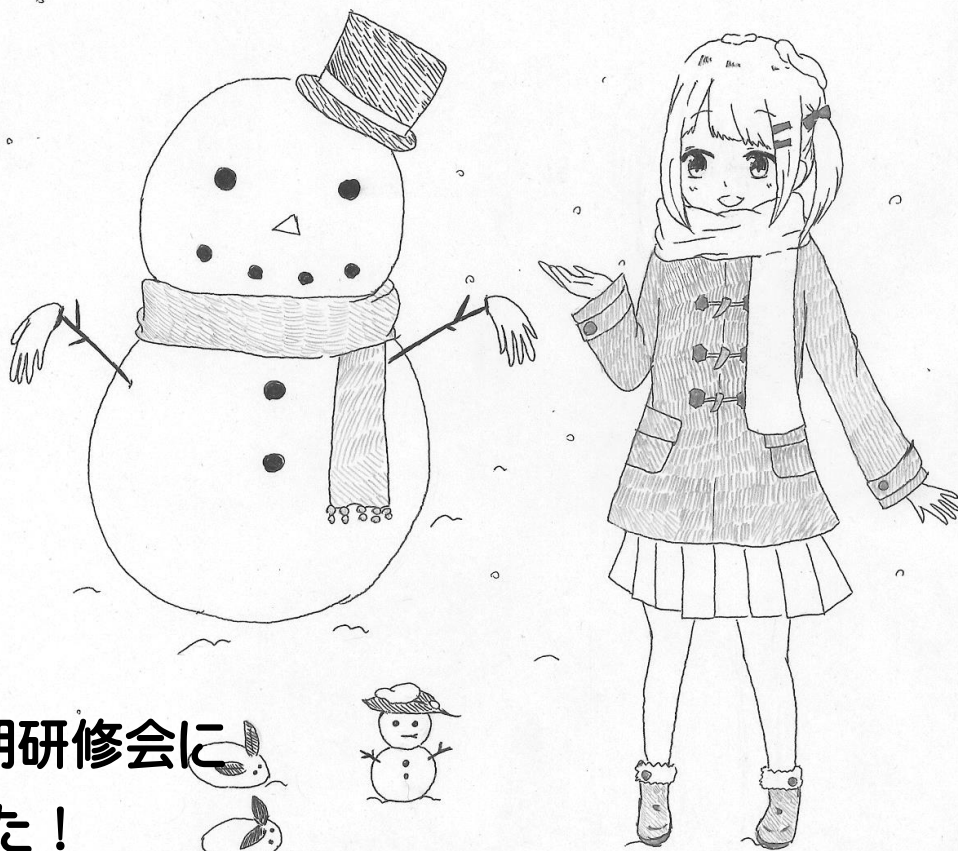
2016. 冬号



殻なし卵の孵化実験を成功させた

田原豊先生の単独

インタビュー



～特集～

図書委員夏期研修会に
行ってきました！



Q どのような高校生活を過ごしていましたか？

A 高校一年から物理部に入っていてエレクトロニクスの勉強が大好きで高校二年生でアマチュア無線二級をとっていました。全く生物ではなく、電気工作に明け暮れていました。

Q 当時夢中になっていた事は？

A 無線送信機作りでトランシーバーを使って九州の人と連絡をとっていました。当時としては画期的だった風呂からも話したいという夢があり、実際に実現しました。

Q いつから生物の分野に興味を持ち始めましたか？

A 高校三年の秋くらいだったかな。もう工学部に行く決めていたけれど突然エレクトロニクスが嫌になっちゃってつまらないと思っちゃった。それに比べて生物は謎だらけだ

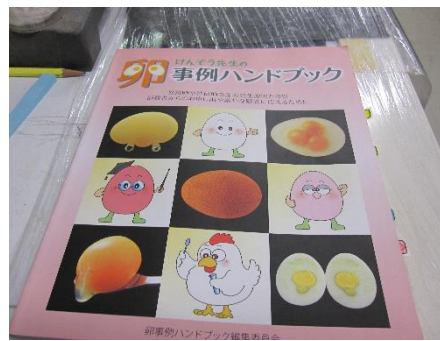
と違って、ガバツと変わっちゃいました。

Q 読書のペース、量はどのぐらいですか？

A 学生時代はジャンルを問わず一年で文庫本百冊とか読んでいました。今は月に一冊くらいですかね。

Q 最近読まれた本はなんですか？

A 『卵事例ハンドブック』という本です。これは卵のありとあらゆる病気が載っていて、すごく助かっています。



Q 好きな作家さんはいますか？

A 『海蛍の光』という本を書かれた故阿部勝巳さんです。



Q 生徒にお薦めの本はありますか？

A 『海蛍の光』です。もう絶版になっているので図書館に寄贈しましたからぜひ読んでみて下さい。

Q 本にかかわるエピソードはありますか？

A 『海蛍の光』の本の中で、「カエルは交尾する」と、書いてあったんですが、「カエルは交尾しません」と、訂正してもらったのがすごく印象的です。カエルは、ただ近づいているだけで抱接といって、交尾とは別なんです。抱きつく、接触するだけで交尾はしないんだよね。

Q 先生が好きな言葉を一言でお願いします。

A 一番好きな言葉は「大丈夫」という言葉です。なんとなく、今の気持ちに合うからです。自分自身にもそう言っているし、生徒達にも「大丈夫。大丈夫。」って、いつも言っています。

Q 学校の先生になった理由はなんですか？

A 研究をやめたくなかったんです。当時高校の先生は、みんな研究をやっていたんです。だから研究職として学校に就職しました。当時は、尊敬できる研究者が千葉県の高校には山のようにいました。

Q 殻なし卵の実験を始めたのはいつですか？

A 高校時代にNHKの通信高校講座

というのがあって、そこでお茶碗に卵を入れてガラスでふたをして、温めると心臓が動き始めるっていう放送があり、それがものすごい衝撃的で、多分それが高校3年生の時だったと思いますね。それで、やりたいと思って大学へ進んだけれど、全くその実験をやつてるところが無くて、違う植物生態学の勉強をしたんですけど、忘れられないまま教員になったら、先輩の先生が、「それは茶碗法といって、昔からあるんだよ」と、その先生に教えてもらってやってみたら、思ってたとおり、すごいことで、当然当時は死んじやうんだけど、それが最初の殻なし実験です。

Q なぜ、殻なし卵からヒナがかえると思ったのですか？

A なんとなくです。殻がなくなるだけだし、生まれてくるんじゃないかなあと思ったからです。



Q なぜ食用卵からヒナをかえそうと思
ったのですか？

A これはね、理由があつて、やっぱ
り本来生まれるはずだった卵を使っ
ちやいけないっていうのが心のどっ
かにあつたんです。食用ならば食べ
られてしまう運命なので、それをも
し救つてあげられるならそれはそれ
でいいんじゃないかという考えから
ですね。今みたいに卵をかえせると
いう自信が持てたらそれはいいの
かもしれないけど、当時全く生まれな
い、そういう見通しの中で命を断つ
のは、やっぱりいけないことなんじ
やないかと思つたので。食用卵には
絶対に明日はないもんね。と、いう
ことで使うのは食用卵にしました。

Q 実験の途中で辛かつたことはありま
すか？

A 大きくなればなるほど途中で死な
れると辛いですね。だんだん自分が
生き物の命を大切にしていけないとい
う思いが強くなつてきました。

Q 批判とかはありましたか？

A ものすごくありました。それは大
変なものでした。生まれるわけな
いし、可哀相だから、この実験はやめ
るべきだと言われました。それが私
も常にかけていた批判だったので、
とても辛かつたですね。

Q 成功したのはいつですか？

A 生浜高校に転動してきてからです。
生浜高校に来てなかつたら成功しな

かつたと思います。生浜高校は不
思議な人が多くて、毎日卵を割つてく
れる生徒とか、私が「もういいよ」
と言つても実験を止めさせてくれな
い先生や生徒がいっぱいました。
定年間に際になつたからもう実験はい
いだろうと、思つていたけれど、全
くそれを許してくれなかつた。だか
ら本当に生浜に来ていなかつたら成
功してなかつたと思います。

Q 殻なし卵の孵化を成功させるための
秘訣はありますか？

A 成功させるには、六つの鍵があり
ます。

- 1 ポリメチルペンテン製のラップ
 - 2 ラップを伸ばし、立体成型する
 - 3 純水の添加
 - 4 カルシウム剤の添加
 - 5 卵の転卵
 - 6 加湿酸素ガスの注入
- 他にも細かいことはあるけど、今言
えるのはこれくらいですね。

Q 殻なし卵の実験が成功したとき、過
去に実験に携わつた卒業された生徒達
の反応はどうでしたか？

A 殻なし卵の実験は、四十年間続け
てきたので、本気で三年間取り組ん
で来て、生まれず、とっても悔しが
つた生徒達もたくさんいたので、成
功した時は、過去の他校の教え子も
含め、皆ものすごく喜んでくれました
。すぐに駆けつけた教え子もいま
した。卒業した教える子の中には、今

も実験に協力してくれ、資材の提供
をしてくれる人もいます。



(実験で手を動かしながらインタビュ
をうけてくれました)

Q ニワトリ、ウズラ以外にどんな生物
で実験したことがありますか？

A たくさんの生物で様々な実験をし
てきました。ウミホタルの研究は、
四十年やってきました。モリアオガ
エルは十年やりました。モリアオガ
エルは、その名のとおり、森に住む
カエルで、枝から枝に跳び移って生
活しています。例えば、赤い発光ダ
イオードをつけて、一晩中追いか
けまわして、どういう生活をするか観
察したんです。寝る前は必ず枝へ登
って、池に一回ジャンプして、もう
一回登ってから木の間で寝ます。寝
てる間に体が乾かないようにしてい
るみたいな。

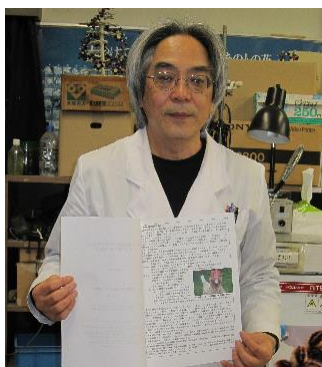
Q 次の実験で使うなら、どんな鳥類を
考えていますか？

A それはさっき言った通りなんです
が、本来孵るべき卵は、この実験に
使つてはいけないと思つています。
だから、鳥類としては、あんまり先
は考えてないですね。ダチョウは一
回やってみたい気がしますけど。

Q 孵化したヒナは今どうしています
か？

A ちゃんと元気に育っています。里
親がいっぱいますよ。殻なしで生
まれたニワトリ同士の子どもも問題
なく生まれています。

(先生の論文の中に殻なし卵で孵化した
最初のニワトリの現在の写真がありま
した)



Q 学校で飼っているヒナはいるんですか？

A 学校にはいません。学校では引き渡せるまでは飼いますが、一生懸命里親を探しています。



(とても可愛いので欲しくなります)

Q 今までで一番楽しかった研究はなんですか？

A それはやっぱり、殻なし卵の研究ですね。卵の孵化実験が成功した時の事が忘れられません。最高に嬉しかったです。

Q 「嵐にしゃがれ」に出演されていたが、嵐の二宮和也さん、カッコよかったですか？

A とても賢い好青年でした。カメラが回っていないくてもあの感じでした。

Q 休日は何をしていますか？

A 基本土日は、学校に来ているんですよ。だけど、鳥の実験をやつてない時は、ほとんどキャンプに行きますね。県外が多いです。日頃の生活を180度変えるって感じです。

Q 生物をやつていて楽しいと思うことはありますか？

A それはしょっちゅうですね。エレクトロニクスの方へ進んでいたら、こんなに楽しい人生になったかわからないくらいですね。

Q 次はどのようなことに取り組みたいですか？

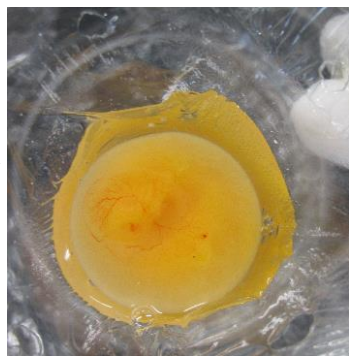
A もう退職もしたし次はないですね。今の研究を深めていくだけです。

Q 生涯高校の生徒に伝えたいことは？

A とにかくやめないことです。続けることは大変だけれども、やめなければいつか先に行ける可能性がある。進路とか、とっても自分の思い通りにいかないこともあるだろうけれど

も、あきらめちゃわないで、どこかに残しておくべきだなと思います。心の中でやめちゃうのはだめだなと思います。

テレビの取材を受けている中、図書委員は、生物部の殻なし卵の実験を見学させていただきました。



(たくさんの方の食用ウズラ卵の中からやっとあった有精卵)

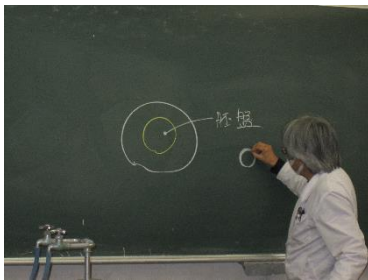




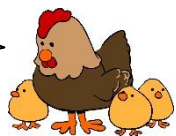
外国からの取材を受けている田原先生、大変お忙しそうですね。日々授業と、研究と、世界各国の取材にパワーに尽しているともすごい先生です。



インタビューを終えて
 ・ ぼくは、あまり鳥などの生物は興味が強かったけれど、このインタビューに参加してみて生物は謎だらけで面白いと思ひ、ちょっと生物にも興味を湧き、とてもいい機会になりました。
 ・ 田原先生のインタビューをして田原先生はすごい先生だと改めて思いました。卵からヒナをかえすことができるなんてことはすごく驚きました。今回このインタビューができて良かったです。
 ・ 私は生物の授業で殻なしウズラの孵化実験を体験しました。結果は失敗に終わりましたが、あの実験を成功させるためにも膨大な時間と努力を重ねてきたんだなとインタビューを終えて思いました。



田原先生と最後に記念写真



図書委員夏期研修会に行ってきました

図書委員長 鶴間陽南

私は、七月二十九日に千葉市美浜区若葉にある神田外語大学で行われた図書委員夏期研修会に参加してきました。神田外語大学は色々な国々の言語はもちろん文化などについても学ぶことができる大学です。『神田外語大学の専攻言語をカバーした七つの言語エリアに各々の生活文化を代表する街並みや建物が再現され、言語と文化を学ぶユニークな擬似留学空間 MLC(マルク)』(※神田外語大学公式サイトより抜粋)があります。

それらの建物の中には絵本、マンガ、言語に関する本が置かれています。私たちは千葉西高校と京葉高校と土気高校の図書委員と七名のグループを作り、調べ学習をしました。その場で初めて出会った他校生とグループを組んだので少し緊張しました。でもみんな優しく積極的ですので少し緊張がとけました。私達の調べ学習のテーマは、タイでした。タイの文化、食べ物、衣装について調べました。グループ内でそれぞれの調べる課題を決めました。私は、タイにある日本のマンガについて調べました。『ワンピース』、『ドラゴンボール』、『ナルト』と『ドラえもん』がタイ語に翻訳されています。『三匹のこぶた』や、『はらぺこあおむし』などの絵本もありました。皆それぞれ調べ終わった後、模造紙にまとめました。その後、発表の準備のためにタイの民族衣装を用意しました。その民族衣装の名前は「シワライ」といいます。

発表するときの順番はクジ引きで決めるのでとてもドキドキしながら、自分の番がくるまで待っていました。他のグループの発表のテーマは韓国、インドネシア、スペイン、ベトナムなどでした。発表を聞いて思っ

たことは、みんなが調べた内容がとても上手くまとめられていて、緊張せずに聞き取り易く「流石だなあ」ということです。中には人を笑顔にする面白い人もいました。私たちのグループは一番最後でした。発表の時はグループみんなのおかげで、緊張せずに楽しく発表することができました。今年の夏は、図書委員夏期研修会に参加して、とてもいい思い出ができました。

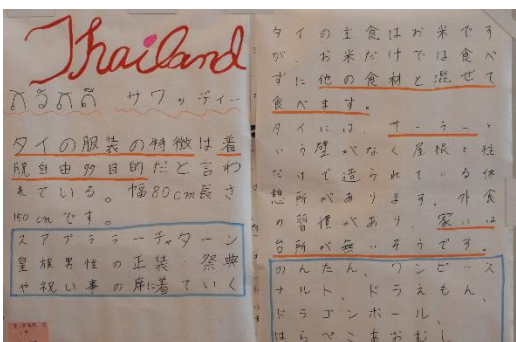


僕は、七月二十九日に神田外語大学で行われた図書委員夏期研修会に参加してきました。

山本侑輝

はじめに、行ってみたいと思っていたことは神田外語大学の図書館は生浜高校など普通の図書館のように蛍光灯の光ではなく、ほとんどがガラス張りでもとても明るく自習用のブースなども、一人一人仕切られていたり、グループで話し合いや勉強ができるようになっていたり、色々な用途に合わせて使えるので、とても素敵な図書館だと思いました。

午後は、各グループに分かれて調べ学習を行い班長になつた千葉西高校の委員長のリードでその図書館を大いに活用して短い時間に集中して活動をしました。初めて会った図書委員の人達との調べ学習は緊張したけれど、とてもいい経験になりました。顧問の先生から発表の時の声の物足りなさを指摘されましたが、次の機会に頑張りたいと思います。



秋年真和

私は、七月二十九日に神田外語大学で行われた第四地区図書委員夏期研修会に参加しました。今回参加したのは、以前から興味があり、面白そうだと思っていたのと、図書委員の先輩からも参加すると楽しいし、勉強になると言われていたからです。実際に行ってみると、とても驚きました。午前は図書館の見学をしました。窓の大きなガラスからは光が差し込んでいて、外はいい景色でした。そして沢山のゆったりした閲覧スペースがあり、他国の本もたくさんあり、本はなんと二十万冊もあるそうです。とてもよい空間だと感じました。午後は各班に分かれて他国の文化について調べました。私たちは、七人のグループで挨拶、衣食住について調べました。神田外語大学で初めて顔を合わせた図書委員がどうやって分担するのか不安でしたが、ジャンケンで決めることになり、ハラハラしましたが、私は一番先に勝ち、挨拶について調べることになりました。

タイの挨拶は「サワディー」と言うそうです。これは、朝、昼、夜いつでも使うことができる便利な言葉だそうです。他にも衣食住について知ることができました。最後に模造紙にまとめてグループ全員で発表会をして他の図書委員が調べた他国の文化についても知ることができ、とても興味が湧きました。今回の図書委員夏期研修会は私にとって、とても良い経験になりました。機会があれば、また参加したいと思います。

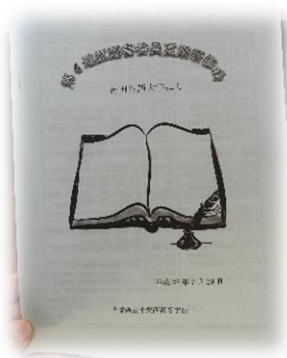


今回の研修会は参加者が各校の引率職員、図書委員を含めて総勢八十一名という近年にない大盛況で異例とも言えることができるそうです。午前の部はべールに包まれた神田外語大学の図書館及び施設見学。

図書委員会顧問 照井嘉宏

午後の部は七班に分かれて図書館を活用すべく『神田外語大学の専攻言語をカバーした七つの言語エリアに各々の生活文化を代表する街並みや建物が再現され、言語と文化を学ぶユニークな疑似留学空間 MLC(マルク)』（※神田外語大学公式サイトより抜粋）で現地に旅し留学する感覚を味わいながら、各国の衣食住や各班独自のテーマを定めた『調べ学習』、並びに発表会という盛り沢山の内容で一時間程という短い時間で、課題に対する参考図書検索から始まって資料の検討、話し合い模造紙へのまとめ。そして、発表。与えられた時間が若干短かった感もありましたが、どの班も一生懸命取り組んで、素晴らしい発表を経て、今後に繋がる貴重な経験ができたものと信じます。

参加した図書委員の皆さん、お疲れさまでした。

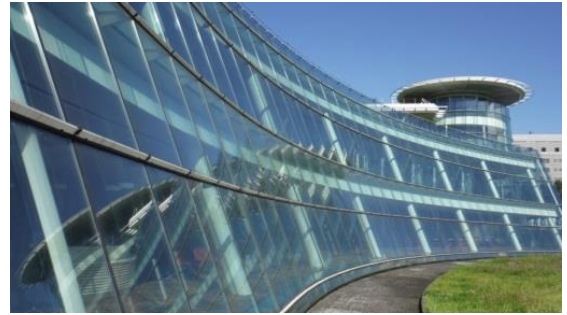




図書館内観4



図書館内観2



図書館外観



マルク疑似留学空間



図書館内観3



図書館内観1

3A 鶴間陽南
(図書委員長)

私は三年間図書委員をやり、今年度は、委員長をやらせていただきました。今までインタビュアーを受けてくださった先生方ありがとうございました。先生方の方が高校時代や趣味など色々な話を聞いて、先生方のことを皆知る事ができ、身近に感じることができたと思います。私が一番図書委員で大変だと思った仕事は、図書館だよりの編集です。先生方のインタビューを録音し、文字にし、質問に合った内容を抜き出す作業をします。今回一年生が中心となつて、頑張りました。編集係の人たちお疲れ様でした。

今回のロングインタビューは田原先生にご協力いただきました。うずらの赤ちゃんを見て私も飼いたくなりました。一羽のうずらももらいました。今は家で温度調整に気を付け、元気に育っています。そして、とても忙しい中ロングインタビューを受けてくださった田原先生ありがとうございました。また、図書館だよりに手にとつて読んでくださったみなさんにお礼を申し上げます。これからも図書館だよりをよろしく願います。

我が家のうずら



3E 石川勇斗
(図書副委員長)

私が図書館だよりに携わるのもこれが五回目で、とうとう最後になってしまいました。様々な先生にインタビューを行つて、普段の授業では聞けない、インタビューでしか聞けない貴重な話もたくさん聞くことが出来ました。今回の図書館だよりは、一年生が、パソコンを使う作業をとっても頑張ってくれました。きつと来年からもしっかりと図書館だよりの仕事をこなしてくれるのではないかと思います。今まで図書館だよりに見てくださった皆様、これからも図書館だよりをよろしく願います。図書委員の皆さん、来年からも図書館だよりの制作を頑張ってください。

インタビューからのお薦め本

田原豊先生より

『海蛍の光』阿部勝巳著



田原豊先生 担当

3A 鶴間陽南

3B 今泉沙耶香

3E 石川勇斗

1A 山本侑輝

1B 秋年真和

1D 笠川優希

図書委員夏期研修会 担当

3A 鶴間陽南

1A 山本侑輝

1B 秋年真和

表紙担当

1E 篠原唯



Wish you a Merry Christmas and a Happy New Year.